



## 梅雨の雨に濡れるカマキリの子

霧のような細かな雨が降る日、アジサイの花に小さなカマキリの子がいました。獲物を待ち構えてもたげた前脚まえあしにも触角しよつかくにも小さな水滴が光っています。

初夏から夏へと移り変わる時期、日本列島に長雨をもたらすのはモンスーンと呼ばれる季節風。ヒマラヤ山脈、チベット高原にぶつかった風が南へ回り込み、水蒸気をたっぷり含んで日本列島付近に吹き込むようになると停滞前線が形成され、長雨をもたらします。

梅雨が始まる頃の6月初旬にじゅうしせつきの二十四節気にじゅうしせつきのひとつ「芒種」ぼうしゆはもみ粉などをまく頃とされます。現代の田植えは5月中に終わることが多いものの、かつては梅雨の頃が田植えの時期でした。時に水害をもたらすこともある長雨ですが、田畑に恵みをもたらす大切な雨でもあります。

モンスーンがチベット高原の北を吹くようになる7月の終わり頃、梅雨が明けて盛夏を迎えます。その時分にはカマキリの子も大きく育っていることでしょう。



2014年10月8日の皆既月食

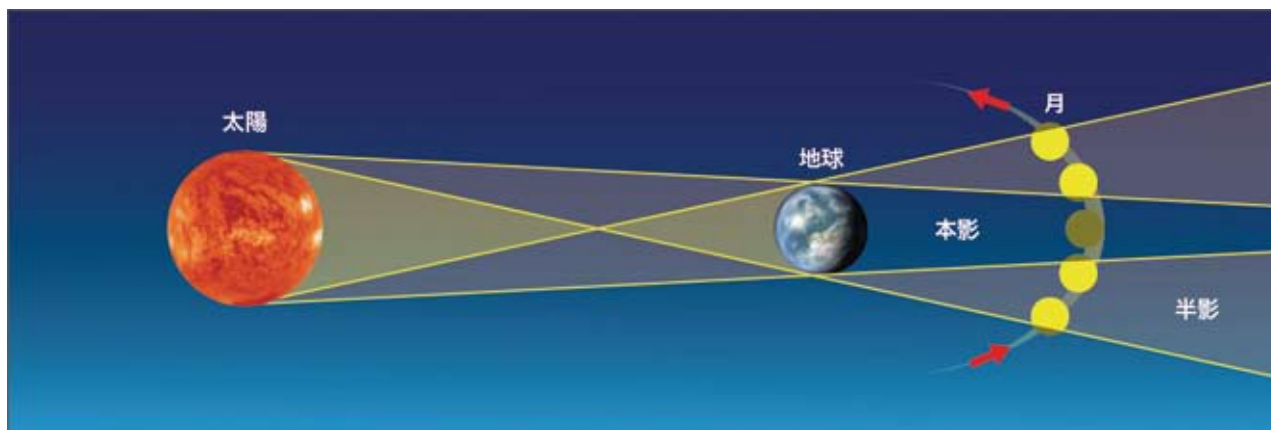
2021.5.26

# 皆既月食を見よう

5月26日(水)に全国で皆既月食が見られます。これは2021年で最も注目の天文現象の一つです。

月食は地球の影の中に月が入って、満月が欠けてい

くように見える現象です。地球の影に月がすっぽり覆われると、皆既月食となります。



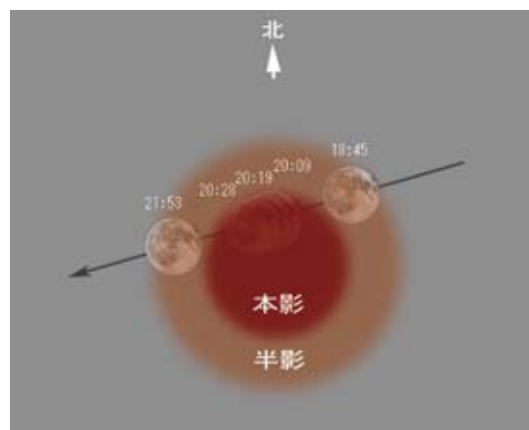
月食が起こるしくみ ©「星空の教科書」技術評論社

今回の月食は、次のように進みます。

月食の始まり	18時44分
	(島根県では月の出前)
皆既月食の始まり	20時09分
皆既月食の終わり	20時28分
月食の終わり	21時52分

西日本では月の出のときにはすでに月食が始まっていて、月が欠けた状態で昇ってきます。この日の三瓶での月の出の時刻は19時03分で、島根県内であればほかの地域でも大きな差はありません。ただし、これは地平線から月が顔を出す時刻ですので、東に山や建物などがあれば、実際に月が見え始める時刻は遅くなります。月が見えたらすぐに皆既月食になる場所もあるでしょうから、月の出始めを見逃さないようにしましょう。

ところで、皆既月食といっても、月が完全に見えなくなるのではなく、多くの場合はうっすら赤っぽく夜空に浮かんで見えます。これは地球の空気が原因になっています。太陽の光が地球の上の空気の層で曲げられ



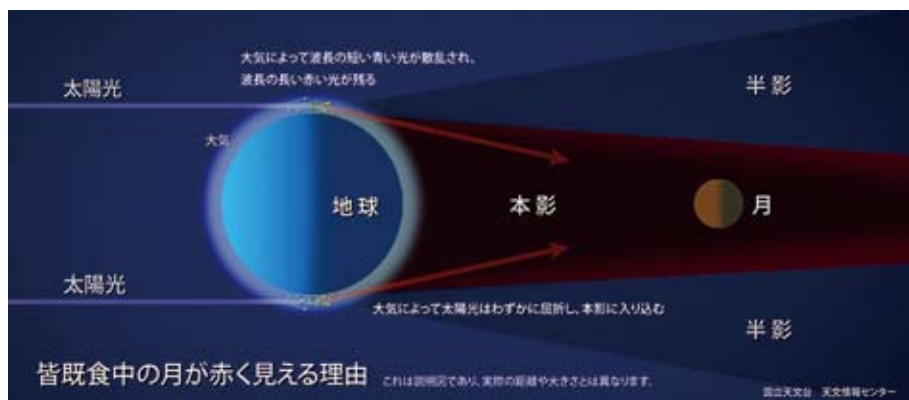
2021年5月26日皆既月食の進行

ここでは月が本影に入るときを月食の始まりとしています。半影の中だけに入っているときは月が少し暗くなる程度で肉眼ではほとんど分かりません。

て、影の中まで少し届くのです。特に、太陽の光のうち青い光は空気の中で散乱してしまうのに対し、赤い光は散乱しにくいので空気の層を通り抜け、影の中に入って月面を照らします。それで、皆既月食のときの月は赤く見えるのです。

ただし、その赤さや明るさは皆既月食のたびに異なります。かなり明るいオレンジ色に見えることもあれば、真っ黒でほとんど見えないこともあります。これは事前に予想しにくく、そのときにならないと分かりません。

今回はどうなるのか、ぜひ見て確かめてください。肉眼でわかりますし、もし、双眼鏡があればより詳しく観察できるでしょう。



©国立天文台

### 皆既月食観察会 5月26日(水) 19:30~22:00

当館の天文台で、望遠鏡などを使って皆既月食を観察します。途中参加、退出自由です。ただし、受付は20:30まで。

定員：30名 料金：大人300円／小人100円

要予約 電話受付



## 三瓶自然館開館30周年



当館は多くの来館者や関係者のみなさまに支えられ、今年、開館30年の節目を迎えます。感謝の気持ちを込めて30年を振り返るとともに、10年後、20年後、30年後も必要とされる施設として、館が果たすべき役割をわかりやすく伝えることを目的に、年間を通じた記念事業を実施する予定です。

4月1日からは、開館30周年を記念した特別デザインの年間パスポートを、先着300枚限定で発行しています。また、館内では30年の歩みを振り返る年表とアテンダントの制服展示も始まっています

企画展は、今年は4回の開催を計画しています。春は「学芸員のとっておき」、夏は「THE昆虫展」、秋は国立科学博物館など複数の博

物館で共同製作した巡回展「ポケモン化石博物館」、冬は日本自然科学写真協会による「自然を楽しむ科学の眼」写真展を行います。

10月には養老孟司氏による講演会、秋から冬にかけては「学芸員の仕事を体験してみよう」などの特別イベントも企画して、みなさまのご来館、ご参加をお待ちしています。



# 6～7月のイベント

 プールの水抜いてみた	6/5 土 9:00～10:30	ひと冬たまっていたプールの水の中にどんな生き物がいるのか、採集して観察します。会場は大田市民公園プール。	定員：20名 料金：小人ひとり100円	<b>要予約</b> 幼児（5才以上）と小学生対象
 親子で作ろう工作教室 葉脈の見えるしおり	6/6 日 13:30～14:30	ヒイラギの葉の葉脈を取り出してしおりを作ります。	定員：親子6組 料金：小人ひとり100円	<b>要予約</b>
 月イチガク③ 魚津埋没林と蟹気楼	6/12 土 14:00～15:30	富山湾の海底に沈んだ不思議な森、魚津埋没林について、魚津埋没林博物館の学芸員にうかがいます。	定員：20名 料金：大人300円 小人100円	<b>要予約</b> <b>ONLINE</b> オンライン視聴も可能
 さんべの森たんけんたい ～初夏の森であそぶ～	6/13 日 9:30～14:00	キャンプ場でキイチゴ摘み。摘んだイチゴでジャムを作り、手作りパンにつけていただきます。	定員：家族8組 料金：大人300円 小人100円	<b>要予約</b> 幼児を含む家族対象
 中国四国の国立公園展 ～アクティブ・レンジャーが伝える 自然と活動～	6/19 土 ～7/15 木	中国四国の国立公園で活動するアクティブレンジャーが出会った美しい自然や、自然を守る取り組みを写真で紹介します。	定員：なし 料金：無料	
 ASOBO スラックラインとハンモック	6/20 日 10:00～15:00	デーキャンプエリアにスラックラインとハンモックが登場！ 宿泊者以外も参加できます。	定員：なし 料金：100円	
 親子で作ろう工作教室 キッチンファーム	6/27 日 13:00～14:30	キッチンにある果物や野菜の種を使ってミニ農園を作ります。	定員：親子6組 料金：小人ひとり100円	<b>要予約</b>
 親子で作ろう工作教室 自然の木を使った工作	7/11 日 13:00～14:30	自然の木を使って、山の動物、ミニチュアのイス、壁飾りなどを作ります。	定員：親子6組 料金：小人ひとり100円	<b>要予約</b>
 昆虫好きな子を持つ大人のための昆虫教室	7/18 日 10:00～11:30	昆虫好きのお子さまがいらっしやる保護者を対象に、虫の安全な触れ方、よく見る種類や生態を解説します。	定員：8家族 料金：入館料	<b>要予約</b>
 月イチガク・フィールド 三瓶火山の標本作り	7/24 土 14:00～17:00	火山灰の地層を観察して標本作りを行います。三瓶火山の噴火の歴史を学ぶ夏休みのお子さま向けの内容です。	定員：20名 料金：大人300円 小人100円	<b>要予約</b>
 親子で作ろう工作教室 カタカタくんだり（木のおもちゃ）	7/25 日 13:30～14:30	立てた木の上を人形がカタカタと下のおもちゃを作ります。	定員：親子6組 料金：小人ひとり100円	<b>要予約</b>
 夏の夜の昆虫観察	7/31 土 19:00～21:00	夜の三瓶山で昆虫を観察するイベント。トラップを使って虫を集めたり、森の中を歩いて夜に活動する昆虫を観察します。	定員：30名 料金：100円	<b>要予約</b>

**要予約** このマークがあるイベントは、1ヶ月前から実施する施設ごとに電話で予約を受付します。



三瓶自然館：0854-86-0500



三瓶小豆原埋没林公園：0854-86-9500



三瓶山北の原キャンプ場：0854-86-0152

## 新型コロナウイルス感染症への対応について

感染症への対策として、臨時閉館や展示やイベントを一部制限、中止する場合があります。変更の場合は、HP等でお知らせします。また、毎週土曜日の天体観望会は予約制で実施しています。

## 島根県立三瓶自然館サヒメル

■開館時間

9:30～17:00

■休館日

毎週火曜日（火曜日が祝日の場合は翌平日）

※年末年始、その他、メンテナンス休館あり



## 三瓶フィールドミュージアムニュース <隔月発行>

編集・発行 公益財団法人しまね自然と環境財団

〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根1121-8

TEL 0854-86-0500/FAX 0854-86-0501

<エコサボしまね> 〒690-0887 島根県松江市殿町8-3 TEL 0852-67-3262

しまね自然と環境財団は、三瓶自然館等の指定管理者です。  
エコサボしまね（松江事務所）では、地球温暖化対策等の事業を行っています。